

笑ってごらん

第 530 号 H. 27. 11. 5 発行

～今日のことば～
 信じて投げて打たれたのなら、それは結果。
 一番いけないのは、やる前から打たれたらど
 うしようと考えること。 (落合博満)



◇◆30～31 日は文化祭であった。皆の頑張りが表れた素晴らしい文化祭になったと思う。ステージ発表も工夫を凝らし、完成度の高いものが多かった。「このままテレビに出られるんじゃないの？」と思えるパフォーマンスもあり、存分に楽しめた。展示作品・模擬店についても、心を一つに皆が協力して取り組んだ成果を感じることが出来た。来年度は創立 60 周年記念文化祭となる。さらに盛り上げるアイデアを出して欲しい。 ◆2 日目には加世田女子高等学校商業科 7 回生還暦同窓会が行われた。恩師による「還暦記念授業」が行われ、地元新聞の記者が取材に訪れた。記者の心配をよそに、参加者全員机を移動してまで写真に写りたがり（ぎゅうぎゅう詰めの座席が不自然なはず・・・）、とても賑やかな同窓会となった。代表の方と一年がかりで準備してきた私にとっても、42 年ぶりに「18 歳」に戻った 43 名の同窓生に囲まれ、とても有意義なひとときになった。皆さんにはいつまでもお元気で頑張っていたいただきたいものである。 ◇◆前回出したなぞなぞについて。問題は、目は四、鼻は九、口は三、では耳は？だったね。答えは「兆」。五感を参考にして欲しい。目は視（四）覚、鼻は嗅（九）覚、口は味（三）覚、耳は聴（兆）覚というからね。 ◇◆クイズの答えにも関連するであろう、感覚器に関わる事が起こった。4 日の朝、新聞を読んでいると、「バンッ！」という音がした。どうやら鳥が窓に突っ込んだらしい。外に出てみると、ヒヨドリが地面にひっくり返り足をピクピクさせていた。以前も同じようなことがあって、その際はそのまま死んでしまったので、「ひょっとして・・・」と一瞬思ったが、20 分後起き上がり、飛び立っていった。どうやら一時的な脳しんとうで済んだらしい。良かった、よかった。近年、よく鳥が窓にぶつかる。「鳥や魚の耳には哺乳類に無い器官があり、生体磁石を使って方角を感知するのではないか」という研究も行われているらしいことから考えると、そうそう窓にぶつかったりはしないはずなのだが、なんだかおかしい。生体磁石を使うのは巣に帰る時だけなのだろうか。それとも、鳥の生体磁石が狂ってしまっているのだろうか。磁場は私達人間の目には見えない。でも、「見えないものは存在しない」とは言い切れない。ラジオの電波や携帯電話の電波だって見えない。しかし、私達はその「見えないもの」の恩恵に授かっているのだ。事実、物理の授業で習った通り、電気が通る場所にはその電線周囲に磁場が起こる。その観点では、付近には各家庭への引き込み電線が存在しており、我が家への電線は路地を挟んで道の反対側にある電柱から引き込まれていることに気付く。故に付近を飛ぶ鳥の生体磁石が急に狂わされてしまう、そんな場所になっているのではないかと考えた次第。真偽のほどはよくわからないままであるが、激突した鳥さんが無事だったので、ホッとしているところ。



感謝道

◇◆過去。過去は自分の前から消えている時の流れ。如何なる人間も時を止めること、戻すことが出来ない。しかし、過去を心に留め置くことは出来る。この留め置く過去が人によって大きく異なる。辛苦ばかりを留め置く人間。喜ばばかりを留め置く人間。どちらも良し悪しはないが、その留め置いた事柄で自分を悩ましてはいないだろうか。辛苦にいつまでも執着して、自らを悩ます。過去の榮譽、快樂にいつまでも執着して、自らを滅ぼす。消えるものは消え、次の新しい自分を創る時の流れ。留め置くのも良いが、それにしがみつことがないように、常に心を観て、自己を管理できる修養を心掛けよう。日々、自分自身は新しく成長変化している。 (Facebook ページ『心学』より転載)

